

今日もたべた？ 本ごはん

めざせ目標冊数！



とうごうしょうがっこう としよかん へいせい ねんど がつごう
東郷小学校 図書館だより 平成28年度 1月号

かん ふう 寒風がふきすさぶころ

あけましておめでとうございます！平成29年（2017年）の年が明けました。

ことし とりどし なにどしう
今年（ことし）は酉年（とりどし）ですが、みなさんは何年生まれですか？もともと「子・丑・寅・卯・辰・

み うま ひつじ さる とり いぬ い じゅうにし ねん てん いっしゅう もくせい い ち
巳・午・未・申・酉・戌・亥」の十二支は、12年で天を一周する木星の位置をあら

わす数（かず）なんだそうです。それを中国（ちゅうごく）の殷（いん）の時代（じだい）に王充（おういつ）という人（ひと）が、わかりやすく動物

にかえたのが始まり（はじ）といわれています。

3学期（がつき）はあっという間（ま）です。今年（ことし）もみなさんのすてきな本（ほん）との出会い（であ）をお手伝い（てつだ）いさ

せていただきますので、どうぞよろしくお願（ねが）いします。

あせ

・ 冬休（ふゆやす）みに借（か）りた本（ほん）は **1月12日（木）までに** 返（かえ）しましょう。

・ 3学期（がつき）の本（ほん）の貸（か）し出し（だ）は **1月16日（月）から** です。

・ 1月（が）の図書（としよ）室（しつ）お休（やす）みの日（ひ）：**毎週（まいしゅう）火曜（か）日（び）、13日（きん）、18日（すい）**

※ 19日（しゅう）は出張（しゅつちやう）のため、午前（ごぜん）中（ちゆう）のみです。（昼休（ひるやす）みはあいていません）。

☆今（こん）月（げつ）のスペシヤルデー（スペシャルデー）は27日（にじゅうなな）日（び）！4さつ（か）借（か）りられ（ら）れます☆

うた

1月の詩

おじいちゃん（おじいちゃん）は億万長者（おくまんちゆうじや）だと
「おあせい（おあせい）いたくを（を）つてく（く）るか」
さんぽ（さんぽ）入（い）行（く）と（と）きま（ま）つて（て）言（い）つ（つ）の
「ウチ（ウチ）はそんな（そんな）にお金（かね）持（も）ちな（な）の」
パパ（パパ）に聞（き）いても（も）笑（わら）つて（て）る
ママ（ママ）に聞（き）いても（も）笑（わら）つて（て）る
仕事（しごと）をや（や）めた（た）おじいちゃん（おじいちゃん）は
時間（じかん）の億万長者（おくまんちゆうじや）にな（な）つた（た）んだと
おばあちゃん（おばあちゃん）が
こっそり（こっそり）教（おし）えて（て）く（く）れた
億万長者（おくまんちゆうじや）のおじいちゃん（おじいちゃん）
時間（じかん）の使（つか）い（い）み（み）ち（ち）に困（こま）つて（て）
じごく（じごく）わ
ふっと（ふっと）た（た）め（め）い（い）き（き）つ（つ）て（て）い（い）る

おくまんちゆうじや
億万長者
とみたえいこ
富田栄子

よい初夢を見るために

むかしから、よい初夢（よいしつむ）を見る（みる）ためには、七福神（しちふくじん）などの絵（え）を枕（まくら）の下（した）にして（して）ねるとよいと、いわれてきました。
七福神（しちふくじん）とは、福（ふく）をもら（ら）す7人（にん）の神（かみ）さまです。日本（にっぽん）だけ（だけ）では（は）なく、インド（いんど）や中国（ちゆうごく）の神（かみ）さまも（も）い（い）ます。

寿老人

中国（ちゆうごく）生まれ（ま）れの長寿（ちやうじゆ）の神（かみ）さま
人（ひと）の寿命（じゆみやう）が書（か）かれた（た）巻物（まきもの）と
わざわい（わ）をはらう（は）らう団扇（うちわ）をも（も）つて
い（い）ます。

弁財天

琵琶（びわ）を（を）手（て）に（に）した（した）七福神（しちふくじん）ただ
ひとり（ひとり）の女神（めがみ）さま。財宝（ざいほう）や芸（げい）
事（こと）の上達（じやうたつ）をつか（つか）さ（さ）ど（ど）ります。

福禄寿

中国（ちゆうごく）生まれ（ま）れの福（ふく）と長寿（ちやうじゆ）の神（かみ）さま
宝（たから）の珠（たま）と枕（まくら）をも（も）つて（て）ます。

毘沙門天

インド（いんど）の神（かみ）さまで仏法（ぶつぽう）の守（まも）り神（かみ）。よろい、かぶ（かぶ）と（と）をつ（つ）け、右（みぎ）手（て）に悪霊（あくりやう）を
はらう（は）らう武器（ぶき）、左（ひだり）手（て）にお釈迦（しやくか）さま（さま）の遺骨（いこつ）を安（あん）置（ち）する（する）仏塔（ぶつとう）をも（も）つて（て）い（い）ます。

布袋

大きな袋（おほふくろ）を（を）か（か）つ（つ）い（い）で（で）い（い）る（る）中国（ちゆうごく）
の坊（ぼう）さん（さん）。信（しん）仰（ごう）す（す）と、子（こ）だ（だ）ら（ら）
に恵（めぐ）まれる（る）とい（い）われ（れ）る。

恵比寿

つりざおと鯛（たい）を（を）手（て）に（に）した（した）商売（しょうばい）
繁昌（はんじやう）の神（かみ）さま。

大黒天

インド（いんど）の神（かみ）さま。大きな袋（おほふくろ）を（を）背（か）負（お）い、うち（うち）で（で）の
こづち（こづち）を（を）持（も）つて、米俵（こめだわら）に（に）の（の）つて（て）い（い）ます。台所（だいどころ）の神（かみ）さま（さま）とも（も）い（い）われ（れ）ます。



こんげつ

今月のいいね!

ノーベル賞 & ひつじの本

2016年12月、ノーベル賞授賞式が行われました。

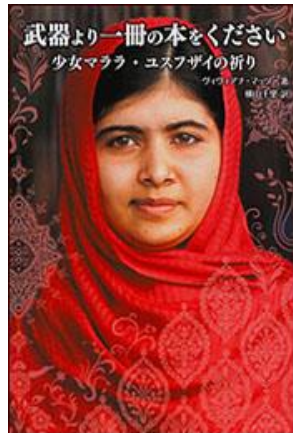


ノーベル生理学・医学賞は、大隅良典さんが日本人として3年連続の受賞となりました。

ー ノーベル賞に関する本を3冊紹介 ー

『武器より一冊の本をください』

ヴィヴィアナ・マツア 著/横山千里 訳/金の星社



わたしが勉強したいという思いを、銃で撃つことはできないー。

2012年10月9日、15歳の少女が通学途中で銃撃にあった。少女の名は、マララ・ユスフザイ。ただただ、勉強がしたいと願う少女だった。奇跡的に生き抜くことができた一人の少女が、今、全世界に訴える。「すべての人に平和と教育を。教育こそただ一つの解決策」。

『キュリー夫人』

伊東信 文/ポプラ社



夫とともに研究に励み、ラジウムを発見したキュリー夫人は、女性で初めてノーベル賞を受賞。2度のノーベル賞にかがやいたキュリー夫人は、いつも人々の幸せを願って研究を続けた科学者でした。



ノーベル賞の大常識
戎崎俊一 監修/ポプラ社

「ノーベル賞の賞金っていくら？」という素朴な疑問から、受賞者の生き立ちやエピソードをまじえて紹介した、楽しい学習読み物。知っていると得するノーベル賞のひみつを徹底攻略!

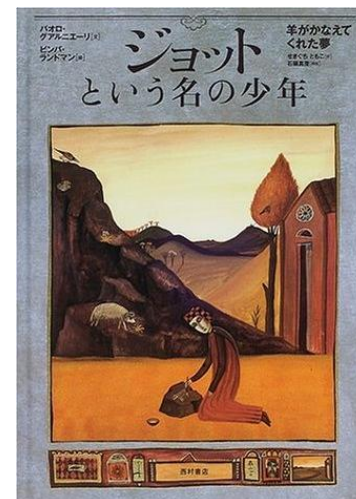


『ひつじくものむこうに』

あまんきみこ 作/長谷川知子 絵/文研出版

雲のむこうへ行ったことがある?そこには“くもひつじ”たちがいっぱいいて、雲のかくれんぼをしているよ。

ファンタジックな絵本☆



『ジョットという名の少年』

パオ・グアルニエリ 文/ビョウ・ランドマツ 絵/西村書店

今から700年くらい前に活躍し、「ルネサンス」の出発点にたつと考えられるイタリアの画家・ジョット。天才ジョットの少年時代の物語「羊の伝説」を描くアートな絵本☆